



**YAMAHA**

J

**RX-V467**

**簡易接続・操作ガイド**

本書および取扱説明書は下記の URL から PDF 版をダウンロードできます。  
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

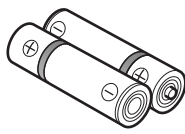
## 付属品の確認と準備

### 付属品の確認

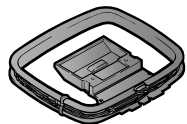
同梱されていることを確かめください。



リモコン



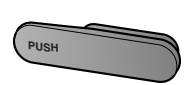
単 4 乾電池 (2 本)



AM ループアンテナ



FM 簡易アンテナ

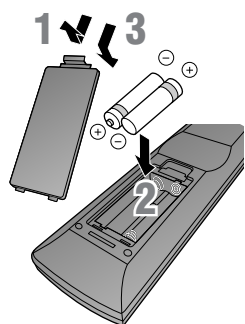


前面入力端子保護キャップ



YPAO マイク

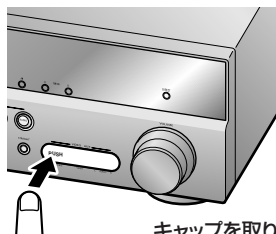
### リモコンの準備



付属の単 4 乾電池 (2 本) を、  
 プラス / マイナスの表示に合  
 わせて入れます。

### 前面入力端子保護用キャップの取り付け / 取り外し

フロントパネルの VIDEO AUX 端子を使わない場合は、ホコリなどの汚  
 れを防ぐために付属の前面入力端子保護用キャップを取りつけてください。  
 取り付けたキャップは、キャップ左側を押して外すことができます。



キャップを取り外す

## 1 スピーカー / サブウーファーを接続する

5.1 チャンネルのスピーカー構成の場合、次のよ  
 うに設置・接続してください。

接続するスピーカーの数に合わせてスピーカー  
 ケーブルを用意してください。

・ 本書に記載している以外の設置・接続方法については、取扱説明書の「ス  
 ピーカー / サブウーファーを接続する」(※ p.11) をご覧ください。

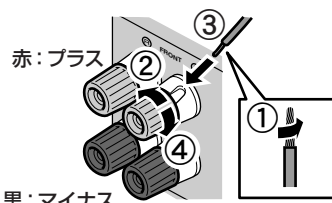
### ご注意

- ・ スピーカーを接続する場合は、本機の電源プラグをコンセントから外  
 してください。
- ・ スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れ  
 たりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障する原因と  
 なります。スピーカーケーブルがショートしている場合は、本機の電  
 源をオンにしたときに本体のディスプレイに「CHECK SP WIRES!」  
 と表示されます。
- ・ スピーカーはインピーダンスが 6 Ω 以上のものをお使いください。

### スピーカー / サブウーファーの接続

#### 1 フロントスピーカーを本機の FRONT 端子に接続する。

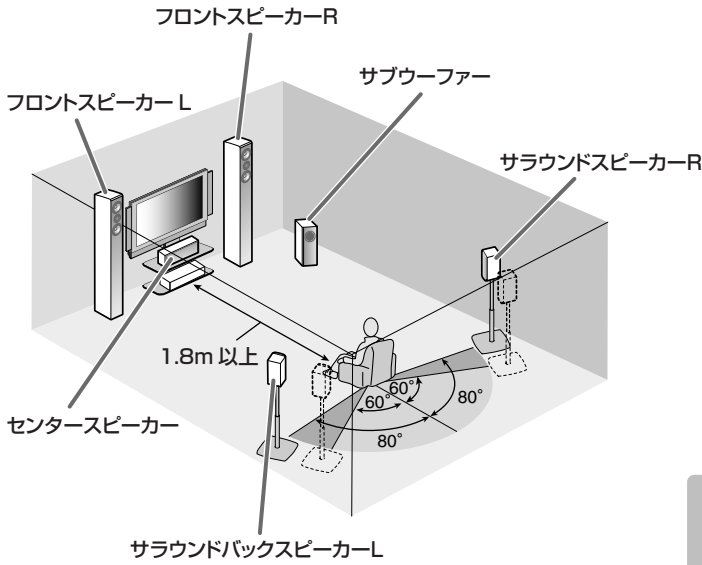
一般的にスピーカーケーブルは、平行した 2 本の絶縁ケーブルです。  
 ケーブルのうちの 1 本は極性を判別するために異なった色またはラ  
 インが入っています。異なった色の (またはラインの入っている、な  
 どの) ケーブルを本機とスピーカーの「+」(プラス、赤) へ、もう  
 片方のケーブルを「-」(マイナス、黒) へ接続してください。



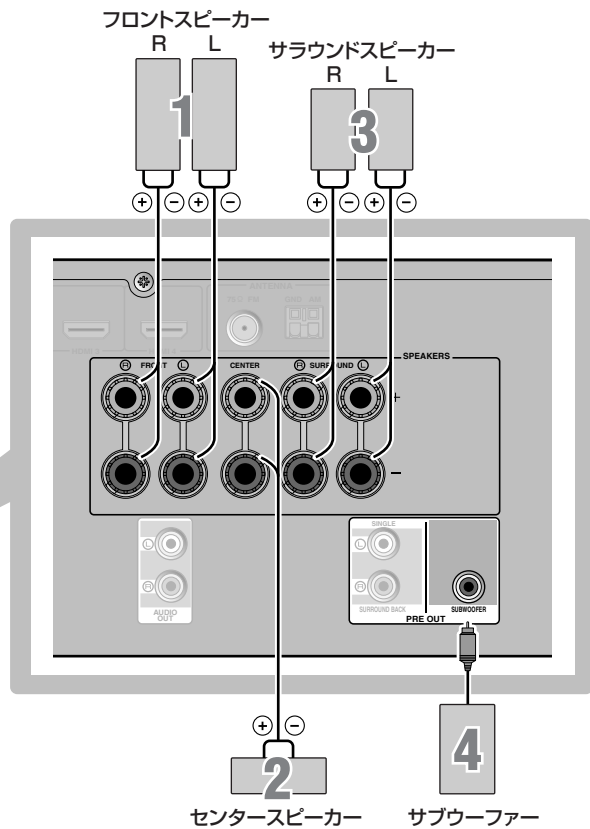
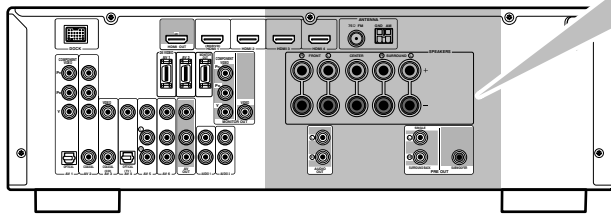
黒: マイナス

- ① スピーカーケーブル先  
 端の絶縁部 (被覆) を  
 10mm ほどはがし、  
 ショートしないように芯線  
 をしっかりとよじる。
- ② スピーカー端子をゆるめ  
 る。
- ③ 端子側面のすき間にス  
 ピーカーケーブルの芯線  
 を差し込む。
- ④ 端子を締め付ける。

■ 5.1 チャンネルシステム  
(スピーカー × 5 + サブウーファー)



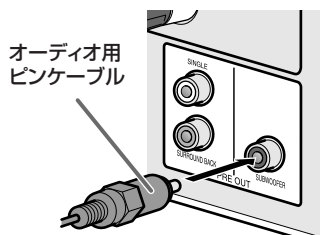
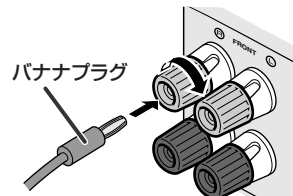
リアパネル



\* 上のイラストの番号は、「スピーカー / サブウーファースの接続」の手順を示しています。

- 2 センタースピーカーを本機の CENTER 端子に接続する。  
手順1と同様にスピーカーケーブルを接続します。
- 3 サラウンドスピーカーを本機の SURROUND 端子に接続する。  
手順1と同様にスピーカーケーブルを接続します。
- 4 サブウーファーを本機の SUBWOOFER 端子に接続する。

**バナナプラグを使って接続するには**  
スピーカー端子をしっかりと締めつけ、端子の先端にバナナプラグを差し込む。

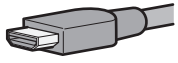


## 2 テレビを接続する

### HDMI に対応したテレビ

#### 使用するケーブル

HDMI ケーブル:

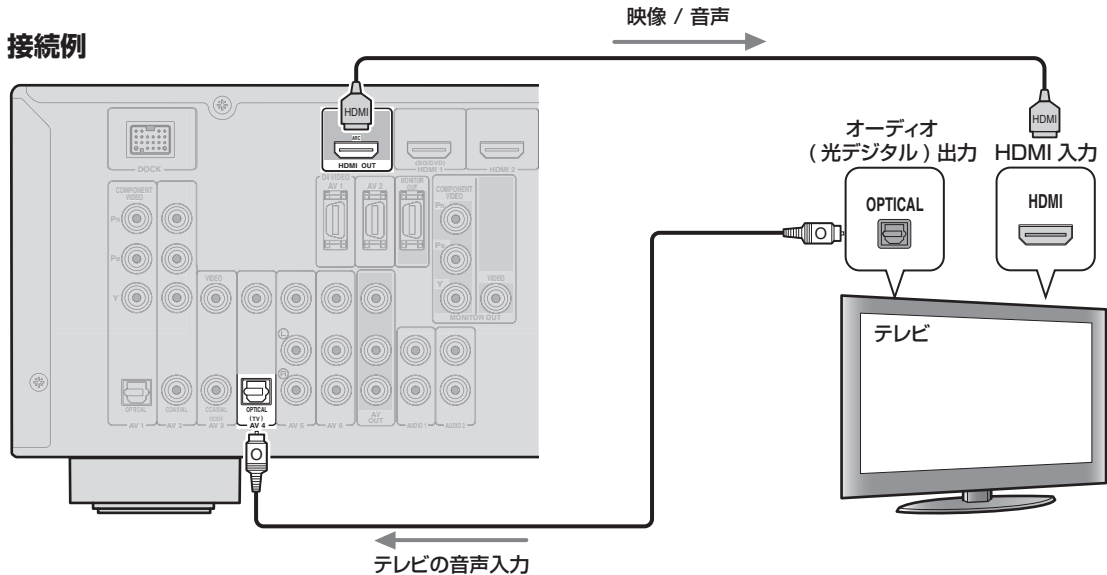


デジタル音声用光ファイバーケーブル:



ケーブルの先端にキャップが付いている場合は、キャップを取り外してからご使用ください。

#### 接続例



\* 上記のように接続した場合、SCENE キーの「TV」を押すだけでテレビの音声が再生できます。(工場出荷時)

### HDMI に対応したテレビ (Audio Return Channel 機能付き)

- HDMI 入力対応のテレビをご使用しており、テレビ側が Audio Return Channel 機能に対応しているときは、HDMI ケーブル 1 本で、テレビへの映像 / 音声出力、本機への音声入力の両方が実現できます。詳しい設定については、取扱説明書の「テレビの音声を本機で聴く」(※ p.15) をご覧ください。
- Audio Return Channel 機能に対応しているときは、音声入力の接続は不要です。

#### その他のテレビ

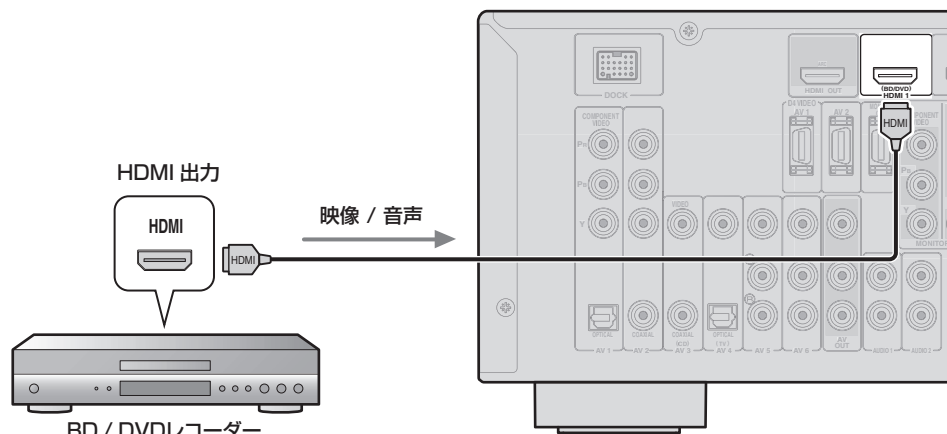
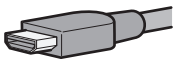
- HDMI 以外の出力端子を使用した接続については取扱説明書の「テレビを接続する」(※ p.14) をご覧ください。

## 3 BD / DVD レコーダーなどを接続する

### HDMI に対応した BD / DVD レコーダー

#### 使用するケーブル

HDMI ケーブル:



#### その他の機器

HDMI 以外の接続方法については取扱説明書の「BD / DVD プレーヤー (レコーダー) などの再生機器を接続する」(※ p.18) をご覧ください。

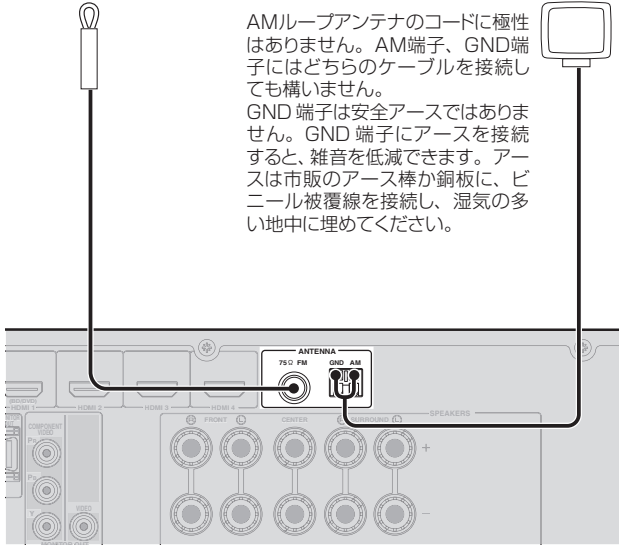
## 4 FM/AM アンテナを接続する

### FM/AM アンテナの接続

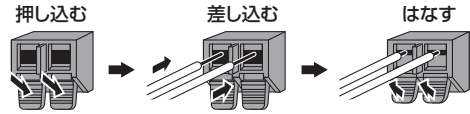
#### FM簡易アンテナ

#### AMループアンテナ

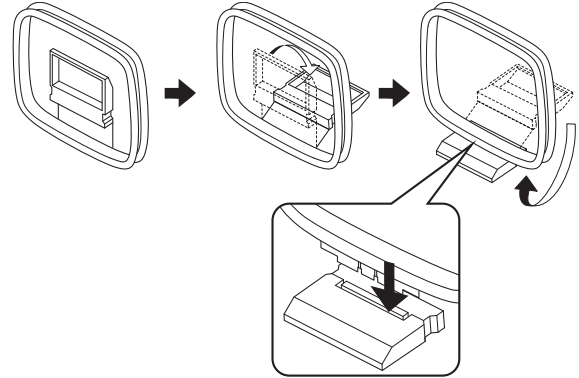
AMループアンテナのコードに極性はありません。AM端子、GND端子にはどちらのケーブルを接続しても構いません。  
GND端子は安全アースではありません。GND端子にアースを接続すると、雑音を低減できます。アースは市販のアース棒か銅板に、ビニール被覆線を接続し、湿気の多い地中に埋めてください。



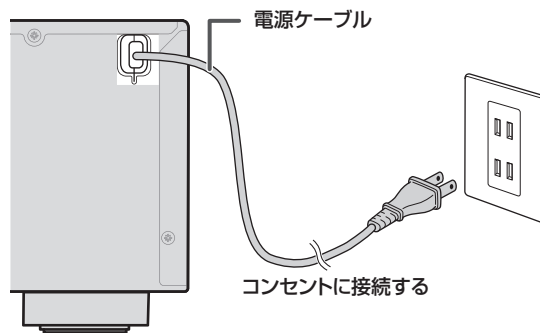
### AM ループアンテナの接続方法



### AM ループアンテナの組み立て



## 5 電源ケーブルをコンセントに接続する

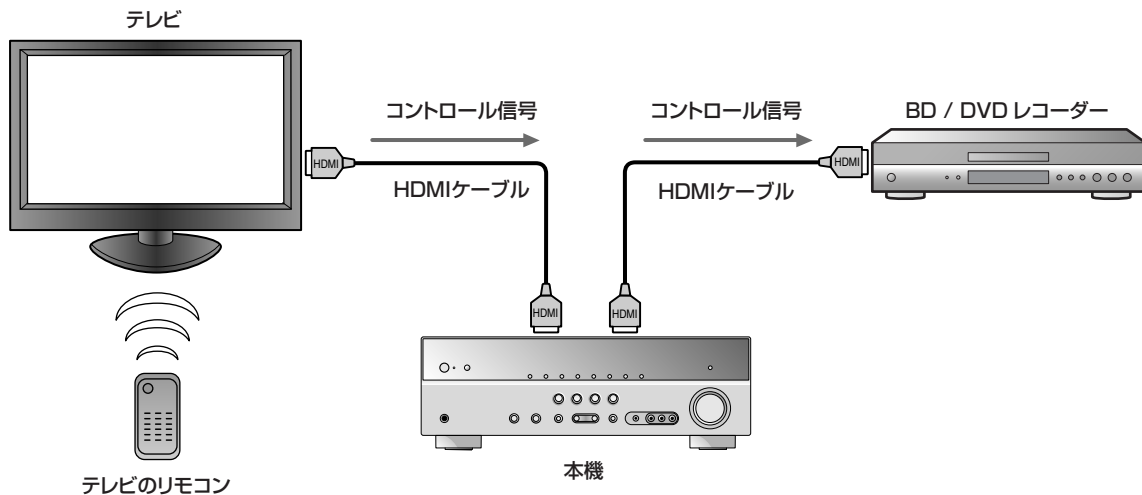


裏面へ  
つづく

## ⑥ テレビのリモコンで本機を操作する

HDMI コントロール機能対応のテレビと HDMI ケーブルで接続すれば、テレビのリモコンで下記の操作ができます。

- 電源操作 (スタンバイ / オン) の連動
- 音量の調節 (大 / 小、消音)
- 音声を出力する機器 (テレビまたは本機) の切り替え



**1** HDMI コントロール機能に対応したテレビ、BD / DVD レコーダーと本機を HDMI ケーブルで接続する。

**2** テレビおよび本機の電源をオンにする。  
外部機器側の操作は、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

**3** テレビ、BD / DVD レコーダーおよび本機の HDMI コントロール機能を有効にする。

本機	セットアップメニューの「Control」(HDMI Setup) が「On」になっていることを確認してください。 工場出荷時は On になっています。 「Control」についての詳しい説明は取扱説明書の「HDMI の設定」(※ p.43) をご覧ください。
テレビおよび BD / DVD レコーダー	お使いの機器に付属している取扱説明書をご覧ください。

**4** テレビの電源をオフにする。  
テレビの電源に連動して、他の HDMI コントロール対応機器の電源がオフになります。連動しない場合は、手で電源をオフにしてください。

**5** テレビの電源をオンにする。  
テレビの電源に連動して、本機の電源がオンになったことを確認してください。オフになっている場合は手でオンにしてください。

**6** テレビの入力設定を、本機と接続した入力 (例: [HDMI1] など) に切り替える。

**7** HDMI コントロール機能対応の BD / DVD レコーダーを本機に接続した場合は、それらの機器の電源をオンにする。

本機	BD / DVD レコーダーを接続したインプットが選ばれていることを確認してください。他のインプットが選ばれた場合は、一度手動で入力を選択してください。
テレビおよび BD / DVD レコーダー	テレビにレコーダーの映像が正しく映っていることを確認してください。

ここまでの操作は、2 回目以降必要ありません。

**8** テレビのリモコンを使って下記の操作をして、本機が正しく連動しているか確認する。

- ・ 電源オン / オフ
- ・ 音量の調節
- ・ 音声出力機器の切り替え

本機とテレビの電源操作が連動しない場合は、両方の機器で HDMI コントロール機能がオンになっているかご確認ください。

正常に連動しない場合でも、外部機器の電源のオン / オフ操作や、電源プラグをコンセントに接続し直して電源を入れることで、改善されることがあります。

電源オンのみ連動しない場合には、テレビ側で優先される音声出力の設定をご確認ください。

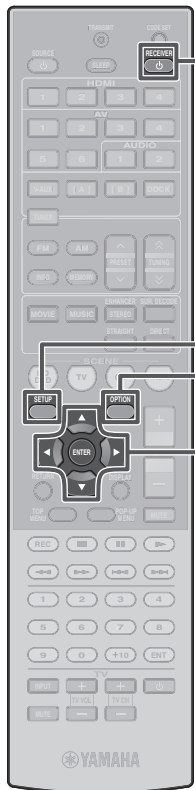
- ・ テレビや BD / DVD レコーダーに付属する取扱説明書の下記内容もあわせてご覧ください。
  - テレビ側の HDMI コントロール機能を有効にする
  - AV アンプ (レシーバー) との接続方法に従って、本機とテレビを接続する
- ・ HDMI コントロール機能をより有効に利用するために、テレビと BD / DVD レコーダーは、なるべく同一メーカーのものを使うことをおすすめします。
- ・ 各社の HDMI コントロール機能の対応状況については、以下のウェブサイトをご覧ください。  
[http://www.yamaha.co.jp/product/av/support/hdmi\\_cec/index.html](http://www.yamaha.co.jp/product/av/support/hdmi_cec/index.html)

## 7 スピーカー設定を自動で最適化する (YPAO)

接続が終わったら、スピーカーの有無、音量バランス、音色を調整して最適な音響が得られるよう調整します。本機にはスピーカーの各種設定を自動で最適化する YPAO (Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer) が搭載されており、簡単な操作で各種設定を最適化できます。

YPAO をご使用になる場合は、次のことにご注意ください。

- テストトーンは大きな音量で出力されます。ご近所への迷惑とならないよう夜間の使用は控えてください。
- YPAO を実行する前に、テレビや各スピーカーが本機に正しく接続されているかご確認ください。



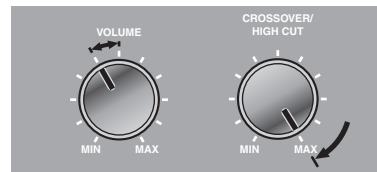
RECEIVER

SETUP  
OPTION

ENTER  
カーソル  
△/▽/◀/▶

### 1 サブウーファーの電源をオンにする。

クロスオーバー周波数を調整できるサブウーファーをご使用の場合は、周波数を最大に設定してください。



サブウーファーの例

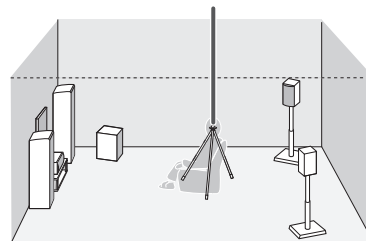
### 2 本機からヘッドホンが取り外されていることを確認する。

### 3 RECEIVER を押して、本機の電源をオンにする。

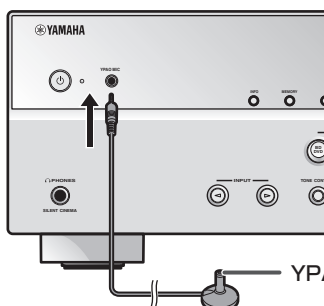
### 4 付属の YPAO マイクを耳の高さにあわせて視聴位置に置く。

マイクを設置する際は、高さを調節可能な器具（三脚など）をマイクスタンドとして使うことをおすすめします。三脚を使って設置した場合は、三脚のネジを使ってマイクを固定してください。

YPAO マイク



### 5 フロントパネルの YPAO MIC 端子に YPAO マイクを接続する。



YPAO マイク



フロントパネルディスプレイに「MIC ON. YPAO START」と表示され、次の表示に変わります。



- 測定前に YPAO マイクを取り外すと、操作を中止して YPAO を終了できます。
- 他の操作をして画面が切り替わった場合、YPAO マイクを接続し直してください。

## 6 必要に応じて OPTION を繰り返し押し、測定後の音響特性 (EQ Type) を選ぶ。

通常は Natural (初期設定) から変更する必要はありません。必要に応じて変更する場合は取扱説明書の「スピーカー設定の音響特性」(※ p.21) をご覧ください。

これで準備は完了です。測定を実行する際は、より正確な測定結果を得るために次のことにご注意ください。

- 小さなお子様がいらっしゃる場合は、テストトーンで驚かないよう十分にご配慮ください。
- 測定には約 3 分かかります。測定中はリスニングルームをできるだけ静かに保ってください。
- 測定中は、スピーカーと YPAO マイクの間を遮らないようにしてリスニングルームの隅で待機するか、部屋から退出してください。

## 7 SETUP を押し測定を開始する。

測定を中止する場合は、**カーソル** △ を押してください。再度測定する場合は、**カーソル** ▽ を押して画面を切り替え、**カーソル** ◀ / ▶ を押して「Retry」を選び **ENTER** を押してください。



測定中の画面

正常終了

問題なく測定が終了すると、次の画面が表示されます。



エラー発生

問題が発生すると、次の画面が表示されます。



エラー画面 (例)

問題が発生した場合は、測定中または測定後にエラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-1 など) が表示されます。取扱説明書を参照して問題を解消したあと、再度 YPAO を実行してください。

取扱説明書の「測定中にエラーメッセージが表示された場合」、「測定後に警告メッセージが表示された場合」(※ p.22) をご覧ください。

## 8 ENTER を押し測定結果を反映する。



測定結果を反映したくない場合は、「YPAO Complete」と表示されている間に**カーソル** ▽ を押して画面を切り替え、**カーソル** ◀ / ▶ を押して「Cancel」を選び、**ENTER** を押してください。再度 YPAO を行う場合は、YPAO マイクを本機から抜き、手順 5 からやり直してください。

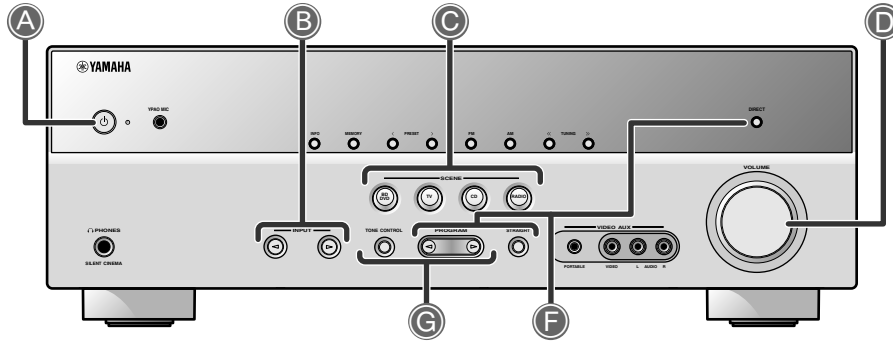
## 9 YPAO マイクを取り外す。

YPAO が自動で終了します。

YPAO マイクは熱に弱いため、測定が終了したら高温になる場所 (AV 機器の上など) や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。



# 基本操作



## A 電源のオン / スタンバイを切り替える

キーを押すたびに電源のオン / スタンバイが切り替わります。

## B 視聴するインプットを選ぶ

選択したインプットの名前がフロントパネルディスプレイに表示されます。



## C シーンを切り替える

キー操作 1 つでインプットや音場プログラムなどを切り替えます。

シーン	インプット	音場プログラム
BD/DVD	HDMI 1	Straight
TV	AV4	Straight
CD	AV3	Straight
RADIO	TUNER	7ch Enhancer

・電源がスタンバイのとき SCENE キーのいずれか 1 つを押すと、電源オンからインプット / 音場プログラムの切り替えまでを一括して操作できます。

## D 音量を調節する

現在の音量がフロントパネルディスプレイに表示されます。



## E 消音 (ミュート) する

ミュート中はフロントパネルの MUTE インジケーターが点滅します。

## F 音場効果やサラウンドデコーダーなどを選ぶ

フロントパネル	リモコン	内容
PROGRAM	MOVIE	映画やドラマ、スポーツなどの鑑賞に適した音場プログラムを選びます。
	MUSIC	音楽鑑賞に適した音場プログラムを選びます。
	ENHANCER STEREO	ステレオ再生または圧縮オーディオに適した音場プログラムを選びます。
	SUR. DECODE	Dolby Pro Logic II などのサラウンドデコーダーを選びます。
STRAIGHT	STRAIGHT	音場効果をかけずに再生する、ストレートデコードモードに切り替えます。
DIRECT	DIRECT	音声を忠実に再生する、ダイレクトモードに切り替えます。

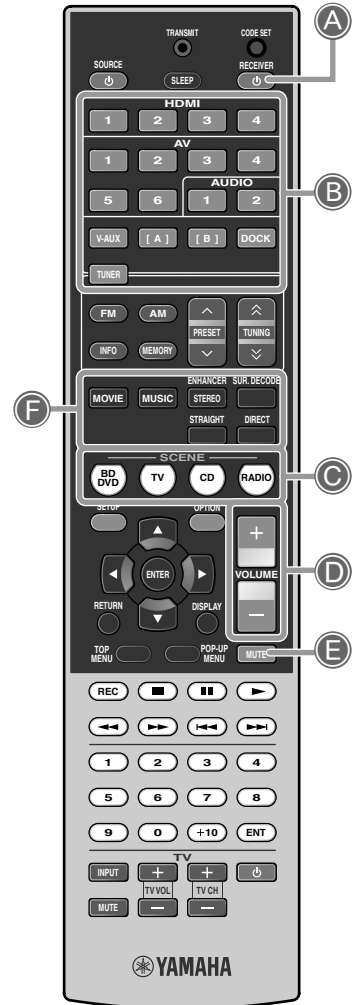
## G 高音 / 低音を調整する (トーンコントロール)

1 TONE CONTROL を押して「Treble」または「Bass」を選ぶ。



2 PROGRAM < / > を押して設定値を増減させる。

- ・スピーカーとヘッドホンは個別にトーンコントロールを設定できます。ヘッドホンを接続した状態で操作すれば、ヘッドホン用のトーンコントロールが調節できます。
- ・音色を極端なバランスに調節した場合、音のつながりが悪くなる場合があります。



本体のリモコン信号受光部に向け、以下の範囲内で操作してください。

